

令和7年度 静岡市中学校総合体育大会 熱中症対策プラン

陸上競技の部

本大会は、気象状況によって暑い中での活動実施が予想されるため、熱中症の対策として、下記のような取組を致します。

記

1 ウォーミングアップ等において

選手監督者として、熱中症予防の観点から指導を行います。

選手たちに対し、小まめな水分補給、体調変化への気配り、無理に頑張りすぎないことなどの指導を徹底します。また、気象情報等に注意するとともに、休憩時間の確保、水分補給への声かけ、選手の観察など十分に行い、個々の選手に応じた対応をします。

2 大会において

大会主催者として、熱中症予防の観点からの運営を行います。

(1) 選手・審判等競技役員

生命、安全を第一に守ることが基本となりますが、競技の特性上、選手が長時間にわたって高温環境下で活動することはないため、WBGT値が31℃になった場合でも競技を中止することはありません。熱中症の危険性の高い長距離種目に関しては、競技時間を比較的涼しい時間帯に設定します。また、スタート前に水分を取らせるとともに、コース上とゴール付近への給水所設置を行います。

(2) 補助員・観客・応援者

観客・応援者に対して、日陰での観戦や水分補給の呼びかけを放送で行います。

補助員は、帽子やタオル等で頭・首付近を覆うなどの対策をしてください。また、気分が悪くなった場合は近くの審判員に報告してください。

(3) 大会本部

下記のような準備及び注意を呼びかけます。

- ①可能な限り冷房のある休憩室を確保します。
- ②熱中症指標計を準備し、データの確認をします。
- ③体温計、血圧計の準備をします。
- ④経口補水液、スポーツドリンク等の用意をします。
- ⑤長距離選手に対して、給水所を設置します。
- ⑥看護師や救護担当を配置します。